

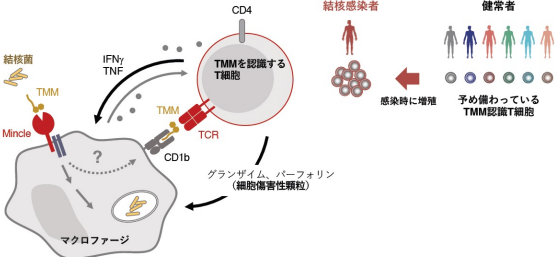


異物を認識する免疫センサーの仕組みを解く

私たちの研究室では「生体が異物をどのように認識して対処しているのか」を明らかにすることを目的として、個体・細胞・分子・原子レベルの研究を、免疫学・生化学・細胞生物学・構造生物学を横断して進めています。特に「分子の同定」という着実な研究を大切にしています。バックグラウンドは問いません。意欲ある方の参加をお待ちしています。見学は自由です。

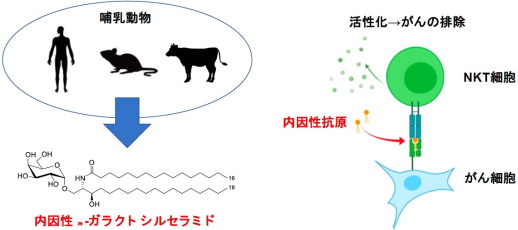
最近の研究成果

・結核菌と戦う新たなヒトT細胞を発見



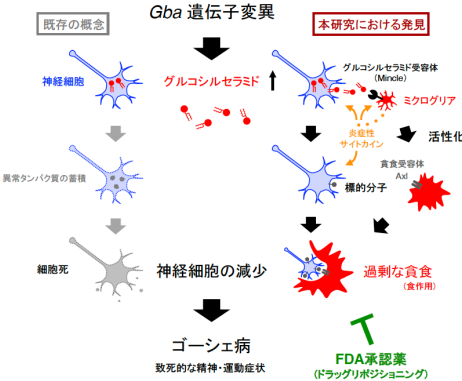
－ BCGワクチンに代わる予防法に期待 －
Sakai, Asa et al. *J. Clin. Invest.* in press

・ナチュラルキラーT(NKT)細胞を活性化する自己抗原を同定



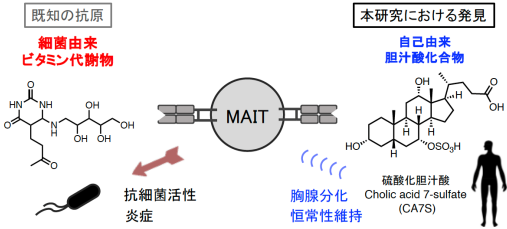
－ 新たながん免疫療法への応用に期待 －
Hosono, Kasai et al. *J. Exp. Med.* in press

・ゴーシェ病発症の分子メカニズムを解明



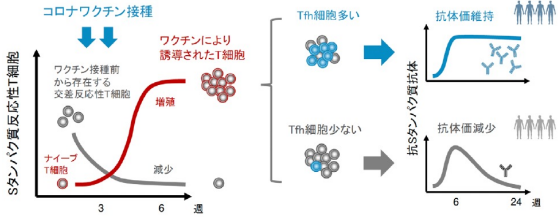
－ 神経症状に対する有効な治療法開発に期待 －
Shimizu et al. *Immunity* 2023

・自然免疫型T細胞MAIT細胞の自己抗原を発見



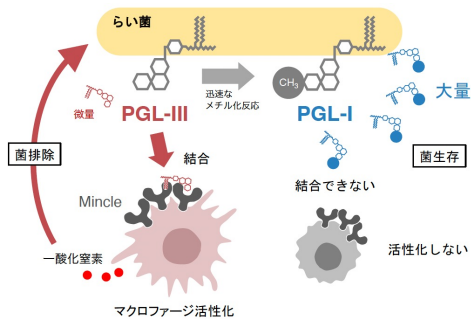
－ 代謝物の排泄帯が免疫系の分化に再利用されていた －
Ito et al. *Sci. Immunol.* 2024

・ワクチン接種後の抗体産生維持に働くT細胞を同定



－ ワクチンによる抗体持続性の予測が可能に －
Lu et al. *J. Exp. Med.* 2021; *eLife* 2024

・ハンセン病を起こすらい菌が免疫系を攪乱する仕組みを発見



－ 潜伏するらい菌を「可視化」して排除する抗菌薬の開発に期待 －

Isizuka et al. *ACS Cent. Sci.* 2023

卒業生の進路

海外留学(フランス、ドイツ、など)、海外企業(フランス)、国内研究所研究員、国内製薬企業、微研財団など